苫小牧市立中央図書館　評価と点検について

苫小牧市立中央図書館
指定管理者　TRC 苫小牧グループ

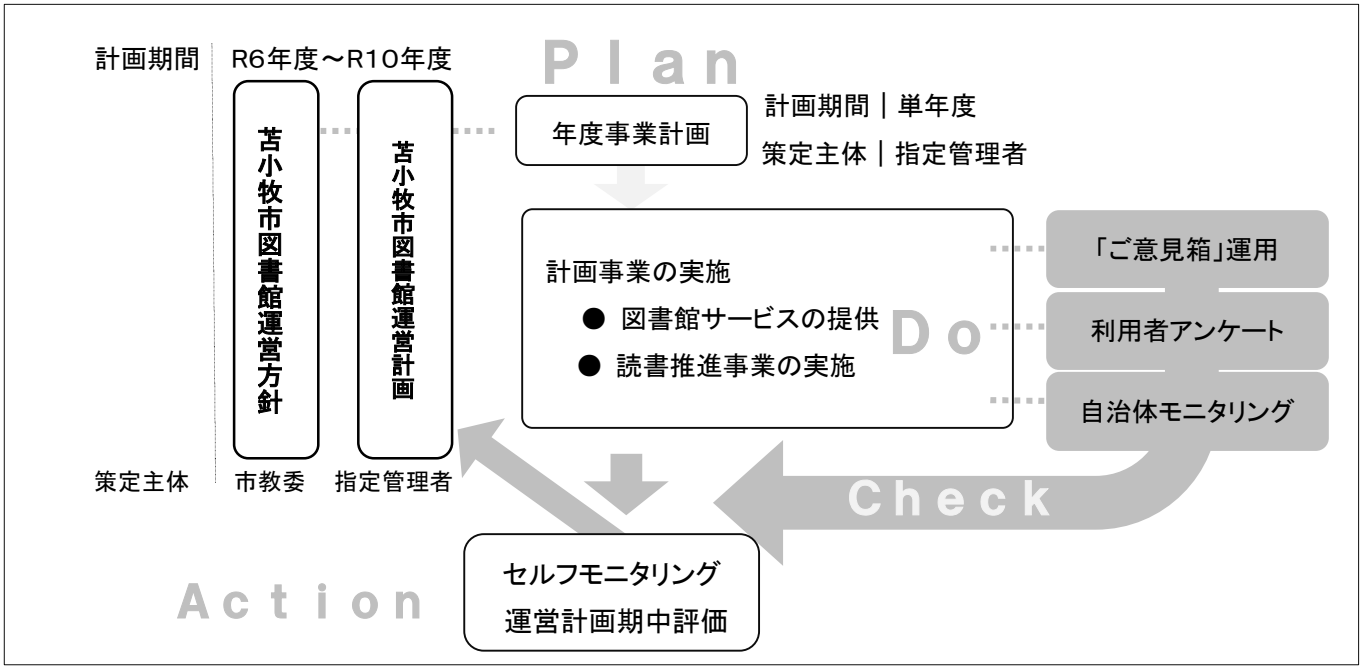
【 参 考 】

「図書館の設置及び運営上の望ましい基準」(平成 24 年 12 月 19 日文部科学省告示第 172 号)

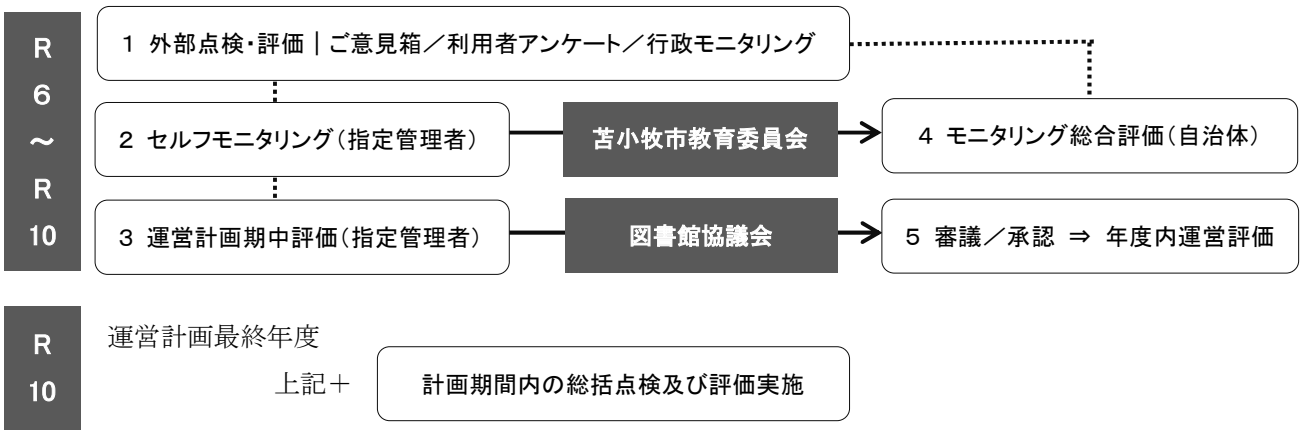
第二－一－1－(二)運営の状況に関する点検及び評価等

1 市町村立図書館は、基本的運営方針に基づいた運営がなされることを確保し、その事業の水準の向上を図るため、各年度の図書館サービスその他図書館の運営の状況について、(一)の2の目標及び事業計画の達成状況等に関し自ら点検及び評価を行うよう努めなければならない。

１．運営のフレーム



２． 点検・評価の実施方法について



R10　運営計画最終年度

上記＋　計画期間内の総括点検及び評価実施

苫小牧市立中央図書館　図書館運営計画　期中評価（令和7年度）

苫小牧市図書館運営計画で予定した令和7年度の取組について、指標達成度を自己評価します。

	No.	目標内容
図書館運営計画	1	基礎的な図書館サービスの充実
	2	家庭生活及び職業上の課題や地域課題解決のための支援機能の強化
	3	教育的役割を重視した取組の推進
	4	魅力的かつ効果的・効率的な運営体制の構築

運営計画1　基礎的な図書館サービスの充実

事業名	具体内容	実施	取組状況	備考
1-1 資料・情報収集機能の充実	収集基準に基づいた資料収集	○	適時収集。	
	特徴ある資料（大活字・洋書・映像資料など）の継続収集と充実	○	大活字コーナーの拡大を実施。	
	郷土・行政資料の継続収集と充実	○	郷土・行政資料蔵書冊数39,247冊	
	電子書籍をはじめとした電子資料の収集と充実	○	「デジタル伊能図」「電子雑誌閲覧サービス」の継続導入。	
1-2 資料・情報提供機能の充実	参考郷土資料室の活用と周知	○	随時。	
	レファレンスサービスの周知と充実	○	レファレンスサービス。 受付件数6,984件	
	電子書籍をはじめとした電子資料の提供周知	○	施設見学等イベント時に説明をしPRを図る。	
1-3 資料・情報保存機能の充実	資料の適切な管理と保存	○	随時。	
	TRC-ADEACを活用したデジタルコンテンツの活用	○	随時。	
	地域資料の電子図書館への登録と活用	○	随時。 デジタル化点数（累計）10,733点	
1-4 図書館という空間の魅力向上	利用ニーズの把握及び運営への反映	○	お客様アンケート・ご意見箱ほかで随時対応。	
	乳幼児・保護者のための環境整備	○	絵本が３冊入った「ベビーベアーバック」の貸出。	
	障がい者のための環境整備	○	電子図書館テキスト版（視覚障がい者向け）運用中。	
	高齢者のための環境整備	○	読書補助具をカウンターに設置。	
	フリースペース・イベント開催場所としてのリラックススペースの活用	○	本の展示スペースとして活用。イベントスペースとして活用。	
	外国語版利用案内の配布	○	随時配布。	
	子育て世代への利用配慮としてのこそだてtimeの実施	○	毎週木曜日「こそだてtime」実施。	
	地域、他施設との連携展示・書架の展開	○	レッドイーグルス北海道との展示。国立がん研究センターからパンフレット等の提供。	

運営計画１における成果指標	指標算出方法	基準値(R5)	目標値(R7)	当年実績	達成率
郷土行政資料の蔵書冊数	―	38,049冊	38,353冊	39,247冊	102.33%
郷土行政資料のデジタル化点数	―	10,545点	10,629点	10,733点	100.98%
赤ちゃんと楽しむ絵本ひろばの参加人数	―	62組125人	66組132人	198組411人	311.36%

自己評価

成果指標に上げている「赤ちゃんと楽しむ絵本ひろば」は、今年度ニーズを反映し、会場の変更、定員の廃止、時間を拡大し、読み聞かせ終了後は、交流の場として提供している。今回の変更が功を奏し、結果に結びついた。他の事業に関しても、現在のサービスに留まらず、今後の動向・ニーズに日々対応していきたい考える。参考郷土資料のデジタル化に関しては、引き続き、積極的に電子図書館のコンテンツとして登録した。ログインせずに見ることも出来るため、様々な方に郷土資料をご覧になっていただきたい。ここ数年、電子図書館内で他市とデジタル郷土資料の交流展示を行っているが、今年度さらに1館増え、4館で交流展示を行った。今後も郷土資料のさらなる魅せ方を模索していきたい。

運営計画 ２ 家庭生活及び職業上の課題や地域課題解決のための支援機能の強化

事業名	具体内容	実施	取組状況	備考
2-1 課題解決の支援	レファレンスサービスの周知と充実（再掲）	○	レファレンスサービス。 受付件数6,984件（再掲）	
	ICTを用いた情報入手の周知	○	随時実施。	
	パスファインダーの作成と配布	○	「異常気象（一般）」「SDGｓ7・8（児童）」	11月 1月
	レファレンス技能の向上	○	各種研修会への参加。	
	ニーズに即したICT活用講座の実施	○	イベント時に説明をしPRを図る。	
	時節に合わせたテーマ展示（一般・児童・参考郷土）	○	一般84回　児童55回　郷土9回	
	他市図書館との交換展示	○	習志野市（千葉県）	7-8月
	HP上レファレンス受付フォームでのレファレンスの充実	○	随時実施。 2025年度受付件数　18件	
	医療サービス支援としての「市民のための医学講座」コーナーの充実	○	がんに関するパンフレットの設置。 年４回展示実施。	
	ビジネス支援コーナーの充実と活用	○	年４回展示実施。	
	★「市民のための健康講座」の開講	○	「知っておきたい胃・大腸がん検診の正しい知識」 2月21日開催　53名	
	★妊婦向け絵本講座の開催	○	「絵本のある子育て　わが子にわくわくを　自分に楽しみを」6月13日　5組8名	
2-2 地域の結びつきの再生に向けた支援	市民協働・外部連携の促進	○	適時実施。	
	市内ボランティア団体との連携	○	適時実施。	
	ボランティア養成講座の開催	○	新規ボランティア養成講座を実施。	3月
	既存ボランティア（団体・個人）の活動支援	○	青空こどもとしょかん実施。	9月
	図書館文化セミナー（郷土）の開催	○	「や～・みんな！FMとまこまい@図書館～まちにラジオがやってきた～」 8月9日開催　20名	
	市民協働事業の推進	○	随時実施。	
	苫小牧の特色である地域団体との連携強化	○	レッドイーグルス北海道、FMとまこまい、三星等の連携。	
	イベント開催による交流の創出	○	苫小牧市図書館ぐるっと「図書印」旅 2025年3月20日～5月11日開催	

運営計画2における成果指標	指標算出方法	基準値(R5)	目標値(R7)	当年実績	達成率
レファレンス受付件数	―	3,618件	3,566件	6,984件	195.85%
フロアワークボランティア人数	―	28人	28人	45人	160.71%

自己評価

成果指標として上げている好調であった「レファレンス受付件数」については、今後も非来館者サービスの一環として進めていたレファレンス専用の受付フォームも活用しつつ、繁忙時期に図書館コンシェルジュを配置したことにより、利用者が気軽にレファレンスできる環境整備ができた。フロアワークボランティアに関しても、年々継続的に増えており、市民とともに協働することが出来ている。また、昨年度末からコーナー図書室と連携実施した「苫小牧市図書館ぐるっと「図書印」旅」も、利用者、コーナー図書室ともに好評だったことをふまえ、来年度はさらにバージョンアップをし実施したいと考えおり、活気ある図書館運営に引き続き努めていく。

運営計画 ３ 教育的役割を重視した取組の推進

事業名	具体内容	実施	取組状況	備考
3-1 子どもの読書活動の推進	乳幼児コーナーの充実	○	毎週木曜日「こそだてtime」実施。	
	「赤ちゃん、絵本のとびら」「セカンドブック事業」への協力と連携	○	随時実施。セカンドブック展示実施。	5月-6月
	「赤ちゃんと楽しむ絵本ひろば」の開催	○	10回　延べ参加者数411名	
	読書への関心を高める体験型事業の実施	○	絵本作家ワークショップ 4月26日開催　31名 7月26日開催　25名	
	図書館文化セミナー（児童）の開催	○	児童文学・絵本作家講演会 4月12日開催　73名 9月27日開催　80名	
	学校図書館支援事業「まなぶくん」の充実	○	樽前小学校等、18回派遣。	
	スクールメール便「ブックちゃん」の充実	○	8校　111セット貸出。	
	「苫小牧市図書館を使った調べる学習コンクール」の継続開催	○	応募者数　18作品　入選 5作品	
	ヤングアダルト（YA・10代利用者）サービスの周知と充実	○	YA通信の学校配布、職業体験時での定期的なPOP展示の連携。	
	YA世代間の情報・交流コーナーの設置	○	職業体験時のPOP展示による、同世代のオススメ本の交流。	
	苫小牧学校図書館協会との連携	○	読書感想文、感想画など共催ほか。	
	市内関連部署との連携	○	健康支援課、協働・男女平等参画室、介護福祉課ほか。	
	移動図書館車による市内保育園への団体貸出	○	随時実施。	
	児童センター団体セット貸出「ぐるりさん」の充実	○	随時実施。	
	図書館見学・職業体験の受け入れ	○	随時実施。年間　459人受入。	
	★市内大学との連携	○	(苫小牧市立中央図書館＆北洋大学連携企画)本に親しむ講座　第１部　　8月5日　5人　8月6日　4人　8月7日　3人　8月8日　2人 (苫小牧市立中央図書館＆北洋大学連携企画)本に親しむ講座　第２部 8月26日　7人　8月27日　6人　8月28日　8人　8月30日　1人　8月31日　3人	
3-2 社会で生きていくための知識・技術等の育成	図書館文化セミナー（一般）の開催	○	直木賞作家　門井慶喜さん講演会 「「父」という偉大さ、そして『札幌誕生』」11月29日開催　73名	
	成人に向けた読書環境支援	○	「BOOK DIRECTORになりませんか？」 11月16日開催　8名	
	図書コーナーと連携した全域サービスの展開	○	随時実施。（定期連絡会・コーナー巡回・SNSでの情報発信ほか） 苫小牧市図書館ぐるっと「図書印」旅 2025年3月20日～5月11日開催	
	市内各施設との協働・連携事業	○	美術博物館・科学センター・市民活動センターとの連携。	
	市内ボランティア活動の周知	○	エントランス、リラックススペースにて各団体のイベント周知。	

運営計画3における成果指標	指標算出方法	基準値(R5)	目標値(R7)	当年実績	達成率
児童一人当たり貸出延べ冊数（全館）	0～18歳による貸出冊数÷0～18歳人口(3月末時点)	4.95冊	5.15冊	4.64冊	90.10%
一般一人当たり貸出延べ冊数（全館）	19歳～による貸出冊数÷19歳～人口(3月末時点)	3.98冊	4.14冊	4.06冊	98.07%

自己評価

新規事業として、「市内大学との連携」として、北洋大学の人材を活用して「本と親しむ講座」を9回実施した。相互の人材の交流は今後の関係性の発展にも非常に良い効果があると考える。また、夏季期間に開催したことにより、参加者からは、大人の自由研究のようで良かったと、参加人数は少人数だったが好評であった。
また、「市内ボランティア活動の周知」だが、１階エントランスに各団体にPRポスターを掲示し、周知しているが、少しずつではあるが、会員拡大に繋がっている。継続は力なりで、今後も長期的観点で周知していきたい。

運営計画 4 魅力的かつ効果的･効率的な運営体制の構築

事業名	具体内容	実施	取組状況	備考
4-1 効果的・効率的な図書館運営	業務改善の実施	○	随時実施。	
	個人情報保護のための取組の継続	○	「個人情報監査（本社による）」 「プライバシーマーク研修」の実施。	10月
	利用者要望の把握と実現	○	サービスアンケート・ご意見箱 投書ほかで随時対応。	11-12月
	webアンケートサービスの活用	△	次年度に向けて準備中。	
4-2 職員の知識・技術・能力の育成と継承	接遇の向上	○	随時実施。	
	専門性の向上	○	館内研修で随時。学校図書館司書・ボランティア団体合同研修を開催。	6月 2月
	郷土に関する研修の実施	○	参考郷土の業務について、レファレンス研修、美術博物館の学芸員に講師を依頼し、「苫小牧　大昔のくらし」というタイトルで講座を実施。	9・12・2月
	危機管理に関する意識の共有と研修の実施	○	随時実施。	
	個人情報保護研修	○	「プライバシーマーク研修」の実施。（再掲）	10月
4-3 図書館サービスの周知	図書館報・市広報・新聞等を用いた情報発信の充実	○	随時実施。	
	インターネットを用いた情報発信の充実	○	HP・X(旧Twitter)での情報発信。	
	デジタルサイネージの活用	○	「ぱぴるす」やイベントポスター、館内告知に活用。	
	地域デジタルコンテンツの公開と充実	○	電子図書館で郷土資料を独自資料として公開。	
	SNS発信の充実	○	随時実施。	
	町内会だより等へのサービス周知	○	随時実施。	
	市内各施設、駅等での図書館情報の掲示	○	随時実施。	
4-4 アウトリーチの促進	要望に応じた人材の派遣（司書・図書館ボランティア、市内読み聞かせ団体などへの依頼対応）	○	まなぶくん・出張！図書館でのスタッフ派遣。	
	障がい者サービスの周知	○	随時実施。対面朗読室サービス周知ポスターを作成し、他施設で掲示。	
	移動図書館車を用いたアウトリーチサービス	○	保育園等への団体貸出など随時。 「出張！移動図書館車」 3回実施。　来車数235名	
	非来館型サービスとしての電子図書館の充実と利用促進	○	「デジタル伊能図」・電子雑誌閲覧サービス導入・郷土資料コンテンツ数の充実。	
	市内病院との連携による情報提供の創出	○	随時実施。	
	「出張！図書館」サービスの拡充	○	「出張！図書館」 22回実施。　参加者数1246名	
	★とまこまいぐるっと図書館の開催	○	市内カフェ等に設置。	3月

運営計画4 における成果指標	指標算出方法	基準値(R5)	目標値(R7)	当年実績	達成率
利用者満足度	—	94.8%	95.0%	95.9%	100.95%
職員の研修数	—	32件	32件	39件	121.88%
地域デジタルコンテンツの公開数（再掲）	—	10,545件	10,629件	10,733件	100.98%
司書派遣事業件数（年間）	—	20件	20件	18件	90.00%

自己評価

「出張！図書館」に移動図書館車を活用し、保育園・ネピアアイスアリーナ・市民文化ホール行き、周知活動・利用促進に繋げることが出来たと考えている。今後も移動図書館車も積極的に活動していく。また、「郷土に関する研修」として、苫小牧市美術博物館学芸員を迎え、そして図書館側からは、美術博物館の講座に司書を講師として派遣し、新たなる試みを行った。そして、学校司書、コーナー図書室職員、ボランティアとの合同研修2回開催し、知識をつけるとともに、お互いの情報共有を行い、今後も活発的に読書の輪を拡げていきたい。新規事業として「まちライブラリーの開催」を開始した。長期的視野で、本があふれ、市民の皆さんが本を手に取りやすい、読書がしやすい環境を構築していく。

2025年度　単年度目標					
単年度指標	内容	基準値(R5)	目標値(R7)	当年実績	達成率
新規利用登録者数（全館）	基準値増加率100.40%	1,733人	1,747人	1,445人	82.71%
入館者数（中央）	基準値増加率100.37%	227,449人	229,131人	216,612人	94.54%
貸出人数（全館）	基準値増加率100.37%	163,126人	164,332人	171,081人	104.11%
貸出冊数（全館）	基準値増加率100.37%	725,323冊	730,689冊	718,024冊	98.27%
苫小牧市電子図書館貸出冊数	基準値増加率101.99%	3,568点	3,710点	2,960点	79.78%
				※読み放題パックの使用分は貸出冊数に含まれていません。	

自己評価

貸出人数（全館）以外のいずれの数値も目標値に対して未達成となったものの、全指標の達成率は70%超えており、徐々に回復傾向である。
しかしながら、今一番伸び率があるはずの電子図書館の貸出数が芳しくなかったが、秋頃より、電子図書館の学校連携を開始しており、利用は増加傾向である。図書館として今何が出来るのか模索し、今後も利用者サービスに取り組んでいく。

令和7年度年度総合評価

令和7年度は、成果指標に関しては、概ね達成できた。だが、未達成もあるので、今後も引き続き利用促進に努めたい。また、施設管理に関しては、年々経年劣化による修繕が多くなっており、今年度も言うに及ばず、館としても多く対応したが、生涯学習課にも大がかりな箇所に関してはご協力をいただいた。今後も少しでも長く使用できるように延命措置的な修繕に取り組んでいき、お客様が快適に利用出来るよう対応していきたい。

苫小牧市立中央図書館の自己評価並びに自己評価説明及び点検を踏まえ実施した図書館協議会委員による評価は以下のとおりです。

令和８年６月１５日
苫小牧市図書館協議会　会長　井村　友美

＜総評＞

令和７年度の苫小牧市立中央図書館の運営については、乳幼児から高齢者まで幅広い世代を対象とした読書推進活動や、地域と連携した事業、図書館外へ積極的に出向くアウトリーチ活動など、多様な取組が実施されており、全体として質の高い図書館運営が行われていると評価できます。

特に、「赤ちゃんと楽しむ絵本ひろば」など、乳幼児期から本に親しむ機会づくりについては、子育て世代の交流の場としての役割も果たしており、図書館が地域コミュニティを支える場となっていることがうかがえます。幼少期からの読書習慣の形成は重要であると考えられることから、今後も継続した環境整備や読み聞かせ活動等の充実に取り組んでいただき、子どもたちが自発的に本へ親しむことのできる図書館となることを期待します。

また、郷土行政資料の収集・保存・デジタル化や、電子書籍、大活字本の充実などは、市民が地域の歴史や文化に触れる機会を広げる重要な取組であり、今後もさらなる充実と周知を期待します。一方で、資料展示や情報発信の工夫など、本に興味を持つきっかけづくりについては、引き続き工夫が必要であると考えます。

フロアワークボランティアや地域団体、大学、企業等との連携による取組は、図書館を身近に感じられる工夫として評価できるほか、「図書印旅」や各種イベント、「出張！図書館」、「移動図書館」などのアウトリーチ活動についても、図書館利用のきっかけづくりや、新たな利用者層へのアプローチとして有効であったと感じます。

一方で、成果指標については、新規利用登録者数や入館者数、児童・中高生の貸出冊数など、目標を下回る項目も見受けられました。特に、新規利用登録者数の減少については、若年層や未利用者へのアプローチ、情報発信の強化など、要因分析と改善に向けた取組が必要であると考えます。

さらに、司書体制や専門性向上、多様な利用者への対応、エアコン設置をはじめとした利用環境の整備について、引き続き検討を進めていただきたいと考えます。

総評並びに以下に記載する各委員の意見のまとめのほか、アンケート記載の利用者意見等を参考に、更なる図書館運営の充実に努めてください。

「基本目標１　基礎的な図書館サービスの充実」について

【評価する点】
・課題に対して現状維持にとどまらず「今後の動向・ニーズに日々対応していきたい」「さらなる魅せ方を模索していきたい」という積極的かつ継続的な改善が見られ、非常に質の高い図書館運営が行われていると評価できます。特に「1-4 図書館という空間の魅力向上」は工夫した取組が行われていてよいと思います。
・電子書籍や大活字本の充実は、活字文化に馴染みにくい方々への「情報アクセスの入り口」を広げる重要な取り組みであると考えます。また、デジタル機器を通じた情報提供は、スマホ世代の障がいのある方々にとっても図書館を身近な存在にする可能性を持っており、バリアフリーの観点からも高く評価できる施策であると感じます。
・来館者を増やすために様々な取り組みをしていて素晴らしい
・「赤ちゃんと楽しむ絵本ひろば」は母親にも読み聞かせの良さが伝わり、また、終了後、交流の場としていることで子育て中の母親の居場所になっている。
・セルフ貸出機は簡単で便利です。みなさんにもっと知ってもらいたいです。

【改善を要する点】
・郷土行政資料について、積極的に電子図書館のコンテンツとして登録したと自己評価しているが、蔵書冊数が R5 から約 1198 冊増えているのに対し、デジタル化点数は 188 冊の増加に留まっている。 新規の蔵書は原則としてデジタル化する等の取組みに期待する。
・郷土資料のデジタル化について、もっと多くの方に知っていただくような取組があるとよいのではないかと思います。
・デジタル化もこれからは必要なのかとしれませんが、古い物をそのまま保存すること、それを見ることができるということに意味があると感じますので、両立を図ってほしいです。
・アンケートにもありましたが、セルフ貸出機の周知
・苫小牧市でも夏は非常に暑くなっています。学生さん達が学習しやすいように是非エアコン等を設置していただきたいです。
・施設面での要望がアンケートの中にあったが、階段の手すりやトイレ、冷房など費用に課題は残ることとは思うが、自習室のエアコン設置はぜひやってもらいたい。

「基本目標２　家庭生活及び職業上の課題や地域課題解決のための支援機能の強化」について

【評価する点】
・レファレンス件数が目標値のほぼ倍に伸びていることは、レファレンスが図書館の役割の中核部分であり評価できる。レファレンスは本の貸し出しにとどまらず、市民の「知る権利」を保障するもので、課題解決を支援するための最もコアな機能でさらに進めてほしい。
・フロアワークボランティアが増加し、その結果としてレファレンス受付件数も増加している。市民との協働と利用者へのサービス向上の両立が図られていることは大いに評価に値する。
・レファレンスサービスはとても良いと思います。もっと充実していくことで図書館の利便性が上がると考えます。
・地域の団体や企業との連携、イーグルスとの走り方教室など本に興味がない子でも来館できる工夫をしていること

【改善を要する点】
・イベントが好評だったので、イベントに来た方をリピーターにする、また、これまで図書館に来なかった方に向けたイベント等を更に充実させるとよいと思います。
・図書館機能として「レファレンスサービス」を重視するのであれば、言葉による相談が難しい方への支援についても、さらなる充実というか、工夫が期待されます。
例えば、視覚障害や聴覚障害の方への対応というのはもうすでにあると思いますので、フローチャートのようにして、「今、興味があることは？　旅行、スポーツ、動物、花、etc」という始まりから、３つ４つフローチャートを進んでいくと、「今のあなたは、これを手にしてみては？」と、その時おすすめの本が 3 冊くらい紹介してもらえる等です。

「基本目標３　教育的役割を重視した取組の推進」について

【評価する点】
・乳幼児からヤングアダルト、そして一般人に至るまで、ライフステージに合わせた多角的な読書推進活動が展開されていること、また、市内大学との連携も進められており、非常に質の高い図書館運営が行われていると評価できます。
・乳幼児から学生まで、世代に応じたイベントや工夫された館内装飾は、図書館に「楽しさ」という付加価値を与えていると感じます。また、地域団体との連携を通じて、単なる学習の場にとどまらないコミュニティの拠点として、教育的役割を超えた「地域の居場所」を作ろうとする熱意が伝わってきます。
・「市内ボランティア活動の周知」ボランティアによって誰でも図書館と主体的に関わることができると知ってもらえる。
・子どもの読書活動の推進の事業は評価できる。読書離れが言われる昨今、幼稚園や学校などとの連携をより強化して読書環境を整えたい

【改善を要する点】
・大学との連携の講座の参加者が増えるように取組が進められるとよいと思います。
・今はスマホなどで調べものができることや、電子で本を読むことができるが、やはり、紙で、本を手にとって読むために図書館へ行くということが子供にとって大切なことだと感じます。たくさん本を読んだ子供は大人になっても本にふれることが多いと思います。
・市内大学との連携で開いた講座についてはPRの工夫が必要ではないか。ホームページや市のメールに載せるだけでなく、ターゲットとする年代層が目に付くような場所にポスターやパンフレットの配布など、図書館を利用する団体と連携したPRの仕方を考えてはどうか。

「基本目標４　魅力的かつ効果的・効率的な運営体制の構築」について

【評価する点】
・「出張！図書館」「郷土に関する研修」「まちライブラリー」など、意欲的なイベントを行い、図書館を近い存在にし、本に触れる取り組みを増やそうとする方向性は評価できる。
・職員の研修がしっかり行われ、利用者満足度が 95%を超える高い値となっていることは大変素晴らしい。
・SNS での情報発信や、移動図書館「まなぶん」によるアウトリーチ活動など、施設の外へ積極的に働きかける姿勢を高く評価します。
・美術博物館の学芸員を迎え入れると同時に図書館から司書を講師として相互に派遣するという新たな試みは、双方の専門性が融合するという従来の枠組みを超えた素晴らしい試みである点が評価できる。

【改善を要する点】
・「新規利用登録者数」「貸出冊数」「入館者数」などが軒並み対目標値を下回っている。なぜ新しい利用者を獲得できていないのかという経営的な分析が必要だと思う。若年層への働きかけ、新住民へのアプローチの取り組みを見直す必要があるだろう。
・web アンケートは準備中ということなので、できるだけ早期に始められるよう準備を進めていくとよいと思います。
・一方で、図書館は「調べ物をする人」だけでなく、静かに安心して過ごしたい精神障がいのある方々、誰かと一緒に活動したいわけではないが、人の気配を感じながら地域との繋がりを感じながら過ごしたい人たちにとっても、大切な利用の場であると考えます。そのため、職員研修等において、見た目ではわかりにくい特性への理解を深め、誰もが「ここにいて良い」と感じられるような接遇や環境づくりについて、さらなる充実を期待します。また、熱中症対策として、高齢者・児童が多く利用する図書館にはエアコンは今後必須かもしれません。

2026(令和8)年度　事業計画

（１）図書館運営計画による単年度実施計画

運営計画１　基礎的な図書館サービスの充実

運営計画	実施年度	具体内容
資料・情報収集機能の充実	全期間	・資料収集基準に基づいた資料収集
		・特徴ある資料（大活字資料・洋書資料・映像資料など）の継続収集と充実
		・郷土・行政資料の継続収集と充実
		・電子書籍をはじめとした電子資料の収集と充実
資料・情報提供機能の充実	全期間	・参考郷土資料室の活用と周知
		・レファレンスサービスの周知と充実
		・電子書籍をはじめとした電子資料の提供周知
資料・情報保存機能の充実	全期間	・資料の適切な管理と保存
		・TRC-ADEACを活用したデジタルコンテンツの活用
		・地域資料の電子図書館への登録と活用
図書館という空間の魅力向上	全期間	・利用ニーズの把握及び運営への反映
		・乳幼児・保護者のための環境整備
		・障がい者のための環境整備
		・高齢者のための環境整備
		・フリースペース・イベント開催場所としてのリラックススペースの活用
		・外国語版利用案内の配布
		・子育て世代への利用配慮としてのこそだてtimeの実施
		・地域、他施設との連携展示・書架の展開

運営計画２　家庭生活および職業上の課題や地域課題解決のための支援機能の強化

運営計画	実施年度	具体内容
課題解決支援	全期間	・レファレンスサービスの周知と充実（再掲）
		・ICTを用いた情報入手の周知
		・パスファインダーの作成と配布
		・レファレンス技能の向上
		・ニーズに即したICT活用講座の実施
		・ニーズに即した子育て情報の発信
		・時節にあわせたテーマ展示（一般・児童・参考郷土）
		・他市図書館との交換展示
		・HP上レファレンス受付フォームでのレファレンスの充実
		・医療サービス支援としての「市民のための医学講座」コーナーの充実
		・ビジネス支援コーナーの充実と活用
	2026	・シニア世代向け図書館活用ガイダンスの開催
地域の結びつきの再生に向けた支援	全期間	・市民協働・外部連携の促進
		・市内ボランティア団体との連携
		・ボランティア養成講座の開催
		・既存ボランティア（団体・個人）の活動支援
		・図書館文化セミナー（郷土）の開催
		・市民協働事業の推進
		・苫小牧の特色である地域団体との連携強化
		・イベント開催による交流の創出

運営計画３　教育的役割を重視した取組の推進

運営計画	実施年度	具体内容
子どもの読書活動の推進	全期間	・乳幼児コーナーの充実
		・「赤ちゃん、絵本のとびら事業」及び「セカンドブック事業」への協力と連携
		・「赤ちゃんと楽しむ絵本ひろば」の開催
		・読書への関心を高める体験型事業の実施
		・図書館文化セミナー（児童）の開催
		・学校図書館支援事業「まなぶくん」の充実
		・スクールメール便「ブックちゃん」の充実
		・「苫小牧市図書館を使った調べる学習コンクール」の継続開催
		・ヤングアダルト（YA・10代利用者）サービスの周知と充実
		・YA世代間の情報・交流コーナーの設置
		・苫小牧学校図書館協会との連携
		・市内関連部署との連携
		・児童センター団体セット貸出「ぐるりさん」の充実
		・図書館見学・職業体験の受け入れ
社会で生きていくための知識・技術等の育成	全期間	・図書館文化セミナー（一般）の開催
		・成人に向けた読書環境支援
		・図書コーナーと連携した全域サービスの展開
		・市内各施設との協働・連携事業の開催
		・市内ボランティア活動の周知

運営計画４　魅力的かつ効果的・効率的な運営体制の構築

運営計画	実施年度	具体内容
効果的・効率的な図書館運営	全期間	・業務改善の実施
		・個人情報保護のための取組の継続
		・利用者要望の把握とその実現
		・webアンケートサービスの活用
職員の知識・技術・能力の育成と継承	全期間	・接遇の向上
		・専門性の向上
		・郷土に関する研修の実施
		・危機管理に関する意識の共有と研修の実施
		・個人情報保護研修
図書館サービスの周知	全期間	・図書館報・市広報・新聞等を用いた情報発信の充実
		・インターネットを用いた情報発信の充実
		・デジタルサイネージの活用
		・地域デジタルコンテンツの公開と充実
		・SNS発信の充実
		・町内会だより等へのサービス周知
		・市内各施設、駅等での図書館情報の掲示
アウトリーチの推進	全期間	・要望に応じた人材の派遣（司書・図書館ボランティア、市内読み聞かせ団体などへの依頼対応）
		・障がい者サービスの周知
		・移動図書館車を用いたアウトリーチサービス
		・非来館型サービスとしての電子図書館の充実と利用促進

（2）行事・事業実施一覧　（2026年8月末日時点）

No.	事　業　名	新規	開催日程	対象	参加者数	（前年参考値）	内　容　等
＜運営計画1　関連事業＞							
1	とまこまいのふしぎ発見！		年1回	児童	－	－	苫小牧ゆかりの事象・事物について「とまチョップさんぽ」としてまとめ、資料情報等を交え電子図書館などで広く紹介。
2	サピエによる情報提供事業		通期	児童・一般	－	－	視覚障がい者及び弱視者、高齢者を対象に、点字・音訳データの提供を通じ、公平な読書環境の整備を図るもの。
3	こそだてtime		通期	児童	－	－	日時、館内エリアを指定し、乳幼児・児童をお持ちの保護者が気兼ねなく来館できる環境を整える。
4	図書館ミニシアター		年度内９回	児童・一般	25人 （9回中2回）	99人 （8回開催）	祝日開館した月曜日に図書館所蔵の上映許諾資料の無料上映会。
＜運営計画2　関連事業＞							
1	時短読書flier（フライヤー）		通年	一般	－	－	中央図書館限定で、ビジネス書等の要約版を電子書籍として、約10分で読める時短読書サービス。
2	元気ハツラツ図書館DEパークゴルフ	○	5月9日	一般	17人	－	高齢者を中心とした電子図書館体験会とあわせて開催し、図書館利用促進と共に一般向けの生涯学習の場・交流する場を創出する。
3	図書館文化セミナー（郷土） 直木賞作家　河﨑秋子講演会		7月19日	一般	101人	20人	郷土に関する市民向け講演会事業。第一部は河﨑秋子氏の単独講演。第二部は黒田未来雄氏との対談。 講師｜小説家　河﨑　秋子　氏 対談｜狩猟家　黒田　未来雄　氏 共催｜妙見寺
4	本のばくりっこ市		7月25日	児童・一般	279人 855冊	125人 911冊	図書館不要資料、及び参加者持込図書の交換会。 （苫小牧アートフェスティバル協力事業） 協力｜図書館ボランティア
5	レッドイーグルス北海道 WASHIとーく		8月6日	一般	56人	未実施 （日程合わず）	「WASHIトーク×DX」と題し、図書館資料のアイスホッケー関連本を展示、電子図書館の説明を行うとともに、レッドイーグルス北海道スタッフによるトークタイムを開催。 協力｜レッドイーグルス北海道
6	本屋さん＆図書館ぐるっと『本印』旅		7月20日～ 9月23日	児童・一般		330枚 40冊	本のあるとことを巡り、「本印」を集め、市内で本との出会いを楽しめ、読書推進を図る。 協力｜くまざわ書店苫小牧店、三光堂書店、しんどう書店苫小牧本店、未来屋書店苫小牧店
7	朗読研修会		9月予定	一般		22人	一般向けの朗読講習会。
8	シニア向け図書館活用ガイダンス	○	9月予定	一般		－	図書館の利用・活用方法の講座を開催し利用促進を行う。
9	レッドイーグルス北海道 パブリックビューイング		9月～3月予定	児童・一般		58人	新規利用者獲得・周知を図るため、レッドイーグルス北海道の試合を図書館内で観戦し、相互に新たなる層を獲得する。
10	レッドイーグルス北海道 アイスアリーナおはなし会		9月～3月予定	児童・一般		26人	新規利用者獲得・周知を図るため、レッドイーグルス北海道の試合時に、アイスアリーナでおはなし会を開催する。
11	他市図書館交換展示		10月予定	児童・一般	－	－	他市との電子図書館内での郷土資料等の交流展示。
12	新年絵本カルタ大会		1月予定	児童		14人	絵本カルタを用いり、リラックススペースでカルタ大会を開催し本に親しみを持ってもらうとともに、リラックススペースの利用促進を図る。
13	個人ボランティア研修会		2月予定	関係者		9人	個人ボランティア向けスキルアップ講習会。
14	図書館ボランティア養成講座		3月予定	一般		10人	個人ボランティア希望者に対する事前講習会。
＜運営計画3　関連事業＞							
1	赤ちゃんと楽しむ絵本ひろば		年度内10回	乳幼児 保護者	84組172人 （10回中4回）	198組411人	「赤ちゃん、絵本のとびら事業」タイアップ事業。 乳幼児・保護者向けの読み聞かせ・絵本配布等。
2	子育て情報発信コーナー		通期	児童・一般	－	－	市内施設・機関のパンフレット含め、子育て情報を網羅的に紹介するコーナーを設置。

（2）行事・事業実施一覧　（2026年8月末日時点）

No.	事　業　名	新規	開催日程	対象	参加者数	（前年参考値）	内　容　等
3	ぶっくのーと配布事業		通期	児童	制作数500冊 既配布155冊	制作数500冊 既配布476冊	記入式の読書記録手帳の作成・配布。
4	ライトイットアップブルー（世界自閉症啓発デー）展示		3月28日～ 4月23日	児童・一般	－	－	世界自閉症啓発デーに関する展示。 共催｜北海道自閉症協会苫小牧分会（あじさいの会）
5	CAP大人ワークショップ開催関連展示	○	4月12日～ 5月10日	児童・一般	－	－	CAP大人ワークショップ開催に関する展示。 共催｜とまこまいCAP準備会
6	図書館文化セミナー（一般） 美術博物館×図書館コラボ企画 石川直樹氏講演会「地球を旅する」		4月18日 10月3日予定	一般	100人 （2回中1回）	73人 （1回開催）	文学、図書館、ほか一般向けテーマを設けた講座。 （4月18日開催） 講師｜写真家　石川　直樹氏 共催｜苫小牧市美術博物館 （10月予定） 講師｜小説家　朝倉　かすみ氏
7	子どもの読書週間行事 スペシャルおはなし会 「もりのどうぶつたちとおはなし会」		5月10日	児童	52人	70人 （2回開催）	絵本原画展・絵本作家とのワークショップ開催。 スタッフによるスペシャルおはなし会を開催。
8	環境月間展示＆生物多様性普及パネル展示	○	5月20日～ 6月25日	児童・一般	－	－	環境に関する関連本の展示と、生物多様性の保全及び持続可能な利用促進のための普及啓発パネル展示。 共催｜環境衛生部環境生活課
9	ゼロカーボン取組パネル展示	○	5月20日～ 6月25日	児童・一般	－	－	ゼロカーボンの取り組みについての普及啓発パネル展示。 共催｜環境衛生部ゼロカーボン推進室
10	セカンドブック事業展示		5月22日～ 6月7日	児童・一般	－	－	小学一年生を対象に、本を1冊プレゼントするセカンドブック事業の対象本を展示。 共催｜教育部生涯学習課
11	一日司書		5月24日	児童	7人	10人	小学生対象の公募型職場体験事業。
12	食育月間展示＆クイズ＆ガラス展示		5月30日～ 6月25日	児童	－	－	食育月間の関連本を集めた展示。食に関するクイズ「ぜんぶわかるかな？？世界の朝ごはん」、ガラス展示「発見！！わたしの朝ごはん　カロリー＆元気度チェック」を同時開催。 共催｜健康こども部健康支援課
13	はじめてを応援♪ミニシアター体験！	○	6月4日	児童・一般	22人	－	照明を控えめに点灯し、音量を抑えて映画を上映。小さなこどもと一緒に親子で楽しめる無料上映会。 上映作品「きらきらシャンシャンおほしさま」
14	図書館を駆け抜けろ ～かけっこ大作戦！！～		6月6日	児童	児童20人 ギャラリー31人	児童20人 ギャラリー36人	レッドイーグルス北海道選手による走り方の指導、そして関連資料で走り方を学ぶ体験型事業。 協力｜レッドイーグルス北海道
15	男女共同参画社会展示		6月23日～ 6月28日	児童・一般	－	－	男女平等参画の関連本を集めた展示。 共催｜総合政策部協働・男女平等参画室
16	北海道日本ハムファイターズ読書促進全道キャンペーン「本を読んでファイターズを応援しよう！」		6月24日～ 8月23日	児童	－	－	北海道日本ハムファイターズと道内各市町村の図書館が連携して実施する読書応援企画。 主催｜北海道日本ハムファイターズ
17	図書委員交流研修会 市内小学校図書委員向け一日司書体験（前期・後期）		7月4日 11月予定	児童	16人（前期） （2回中1回）	16人（前期） 13人（後期）	図書委員対象の職場体験事業。 小中学校の図書委員を対象とした一日司書体験。 共催｜苫小牧学校図書館協会
18	三井住友×レッドイーグルス北海道×図書館スポーツイベント	○	7月12日	児童・一般	42人	－	土佐礼子さんによる「『夢』を叶える」講話、図書館職員による土佐さんのおすすめ絵本のよみきかせ、レッドイーグルス北海道の選手とアイスホッケー体験を実施。 共催｜三井住友海上火災保険株式会社北海道東支店苫小牧支社、レッドイーグルス北海道
19	調べる学習講座 ウトナイ湖野生鳥獣保護センター		7月25日	児童	10人	4人	小学3～6年生を対象とした鳥獣センターの体験講座と調べる学習のコラボレーション講座。 共催｜ウトナイ湖野生鳥獣保護センター
20	平和祈念旬間行事 平和祈念展示		8月1日～ 8月18日	児童・一般	－	－	戦争・平和関連の児童・一般向け資料展示を実施。
21	調べる学習講座 せせらぎスクール		8月4日	児童・保護者	26人	4人	小学3～6年生を対象とした苫小牧市ゼロカーボン推進室の体験講座と調べる学習のコラボレーション講座。 共催｜環境衛生部ゼロカーボン推進室
22	転籍本配布		8月5日～ 8月21日	関係団体	7団体 269冊	27団体 1502冊 （2回開催）	保育園、小学校などに除籍資料を配布する。

（2）行事・事業実施一覧　（2026年8月末日時点）

No.	事　業　名	新規	開催日程	対象	参加者数	（前年参考値）	内　容　等
23	調べる学習講座 ボランティアスクール		8月6日	児童・保護者	32人	4人	小学3～6年生を対象とした苫小牧市社会福祉協議会ボランティアセンターの体験講座と調べる学習のコラボレーション講座。 共催｜苫小牧市社会福祉協議会ボランティアセンター
24	平和祈念旬間行事 平和祈念パネル展示		8月11日～ 8月18日	児童・一般	－	－	戦争・平和関連のパネル展示を行う。 共催｜総合政策部政策推進課
25	平和祈念旬間行事 平和祈念映画上映会		8月15日	児童・一般	8人	26人	戦争・平和関連の上映会。 上映作品「明日へ」
26	絵本作家高畠那生さん　読み聞かせ＆ワークショップ		8月29日	児童・一般	63人	25人	絵本の読み聞かせと、白いTシャツに絵の具でカラフルな柄を描くワークショップ。 講師｜絵本作家　高畠　那生　氏
27	調べる学習コンクール		4月～3月予定	児童		18作品	学校へのコンクール開催案内を行い、夏季休暇期間の自由研究活動への図書館資料の活用講座などを実施し、コンクールへの参加を促す。
28	夏休み読書感想文コンクール		7月募集 10月表彰式予定	児童		86点	感想文の作品募集並びに優秀作の選出/表彰。
29	夏休み読書感想画コンクール			児童		29点	感想画の作品募集並びに優秀作の選出/表彰。
30	青空子どもとしょかん		9月予定	児童・保護者		80人	野外読み聞かせを実施。
31	世界アルツハイマー月間inとまこまい		9月予定	児童・一般	－	－	苫小牧市介護福祉課との共催関連本展示。
32	原画展		10月予定	児童・一般	－	－	図書館内で行う絵本原画の借用展示。
33	ひとはこ図書館（子ども編）		10月予定	児童		7人	小さな箱を図書館に見立て、幼児・小学生が館長になる体験型事業。
34	秋の読書週間行事		10/27～11/9 予定	児童・一般		50部	レッドイーグルス北海道選手オススメ本展示実施。
35	みんなで、うち読！		11月予定	児童・一般	－	－	11月「うち読」月間に合わせ、企画展示等で読書推進を図る。
36	ひとはこ図書館（一般編）		11月予定	一般		8人	小さな箱を図書館に見立て、一般の方がブックディレクターになる体験型事業。
37	苫小牧地区小・中学校新聞コンクール		11月予定	児童	－	－	学級新聞コンクール入賞作品の展示。
38	図書館文化セミナー （児童・保護者向け）		11月予定	児童・一般		153人 （2回開催）	児童と保護者を対象とした講演会事業。 講師｜絵本作家　長谷川　義史　氏
39	小・中学生俳句入賞作品展		12月予定	児童・一般	－	－	市民文化祭入賞作品の作品展示。関連展示も実施。
40	本の手帖配布事業		1月予定	一般		既配布300部	記入式の読書記録手帳の作成・配布。
41	製本講習会		1月予定	一般		10人	和綴じに関する講座事業。
42	苫小牧川柳社作品展		1月予定	児童・一般	－	－	市民文化祭入賞作品及び会員制作作品の展示。関連展示も実施。
43	図書館探検ツアー		2月予定	児童・一般		12人	館内を巡る図書館利用ガイダンスツアー。
44	読書感想文集発行		3月予定	児童	－	－	夏休み読書感想文・感想画コンクール入選作を掲載する作品集の編集/発行/配布。
45	雑誌リサイクル市		3月予定	一般		255人 900冊	除籍雑誌の無償配布事業。
46	ライトイットアップブルー（世界自閉症啓発デー）展示		3月予定	児童・一般	－	－	北海道自閉症協会苫小牧分会（あじさいの会）との共催展示。

（2）行事・事業実施一覧　（2026年8月末日時点）

No.	事　業　名	新規	開催日程	対象	参加者数	（前年参考値）	内　容　等
47	学校用貸出セット「ブックちゃん」事業		随時	児童	－	－	小学校・中学校への読書活動の支援。
48	児童館用貸出セット「ぐるりさん」事業		随時	児童	－	－	児童館への読書活動の支援。
49	団体貸出（小中学校、読み聞かせグループなど）		随時	児童	－	－	団体への読書活動の支援。
50	読み聞かせ活動グループおよび関係団体への活性化支援事業		随時	児童	－	－	スキルアップ研修等を実施。
51	ＹＡ世代交流展示		随時	児童	－	－	YA世代の交流の場を創出し、コーナー展開をする。
＜運営計画4　関連事業＞							
1	とまこまいぐるっと図書館		通期	児童・一般	－	－	市内施設・カフェに除籍本等を置き、本を、もっとたくさんの人に、本で、人と人とのつながりを創出する。
2	出張！図書館 出張！移動図書館車		随時 5月12日 7月4日 7月21日 8月1日 8月6日 8月9日	児童・一般	110人 （6回）	1482人 （22回開催）	アウトリーチとして、図書館外でのおはなし会、移動図書館車・図書セルフ貸出ロボットの導入等、周知活動を図る。 派遣先：錦岡児童センター、未来屋書店苫小牧店、苫小牧なの花保育園、ウトナイ湖野生鳥獣保護センター、大成児童センター、苫小牧市民文化ホール

令和8年度　重点事業							
1	シニア向け図書館活用ガイダンス	○	9月予定	一般		－	図書館の利用・活用方法の講座を開催し利用促進を行う